

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第3回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

令和元年6月4日（火）午後6時00分から午後7時15分

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、  
青山義一、泉 秀夫、磯田一裕、伊藤邦雄、今川芳夫、河野健一、  
久保田幸正、小林克美、坂井芳美、田中美佳、田村雅春、中澤武志、  
町屋隆之、丸山朝安、水澤敏夫
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、霜越臨時職員

## 8 発言の内容

### 【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【青山恭造会長】

- ・挨拶
  - ・会議録の確認：河野委員、丸山委員に依頼
- 議題【協議事項】地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

**【小池係長】**

・資料No.1「令和元年度 直江津区地域活動支援事業提案書 受付一覧」に基づき説明

**【青山恭造会長】**

それでは提案No.1から順番に協議していきたいと思う。

「No.1 クリーンナップ上越 i n 五智事業」についてはどうか。

**【町屋委員】**

毎年、同じような質問と回答になっているように思う。発展性の有無を個人で判断し採点すべきだという意見もあり、回答を見て個人で判断するしかないと思うが、提案書に記載されている文言を実際に実施していないように思う。皆さんはどう思うか。

**【磯田委員】**

ほとんど同感だが、継続事業に対して直江津区独自の指針を織り込んでも良いのではないかと思う。今回の審議とは別に、継続事業だけを取り上げて議論しても良いのではないか。

**【中澤委員】**

継続事業という枠で考えるのではなく、その時々で提案で判断すれば良いと思う。

**【青山恭造会長】**

そういった気持ちで採点をお願いしたい。

**【田村委員】**

どの事業もそうだが、資金源を他からも得ようとする努力も評価してやりたい。どれくらいに声掛けしているのか分からなかったのが疑問はあった。

**【増田副会長】**

地域活動支援事業は地域の課題解決のための補助金なので、団体がどうかという判断はない。その事業が良ければ何年継続しても良いという判断で点数を付ければ良い。資金源についても採点上は考える必要がないと思っている。

**【泉委員】**

町屋委員の意見としては、継続事業に対しての考え方と表現を正確にしてほしいということだと思う。継続することに意味がある事業と、事業を行うことによって資金源を得られる事業等いろいろあると思う。提案No.1については継続することに意味があると思っている。

**【町屋委員】**

提案書には良い文言が記載されているが、それを行わないのか、と質問しても良い回答が得られないので、提案書にそのような表現をしなければ問題ないのではないかと考えている。

**【青山恭造会長】**

次に「No.2 五智公園の整備、有効活用支援事業」についてはどうか。

**【町屋委員】**

チェーンソーの講習について質問された人がいるようだが、講習は必要なものか。

**【田村委員】**

業としてチェーンソーを扱うのであれば免許が必要となるが、自分の家等で使うくらいなら必要ない。

**【滝澤センター長】**

地域活動支援事業で活動する上では、免許については特段必要としない。田村委員がおっしゃったように業として扱うのであれば必要となる。

提案団体より、講習を受ける費用も補助対象になるのかということ質問されたが、事務局としては、事業を安全に行うために実施するというのであれば、提案については可能であると回答した。

**【青山恭造会長】**

・「No.3 直江津駅前環境美化推進事業」、「No.4 認知症にやさしい地域づくり in 直江津事業」について、質疑等はないので終了とする。

次に「No.5 『米作り体験』事業」についてはどうか。

**【町屋委員】**

毎回同じような質問をしているが、同じような回答しか得られない。これで採点するしかないのか。

**【増田副会長】**

採点するために不明な点があれば聞いてもらえば良いが、毎年同じような回答しか得られないということであれば、そのように判断していただきたい。

**【青山恭造会長】**

次に「No.6 鉄道の町『直江津』発信事業」についてはどうか。

**【町屋委員】**

当提案も毎年、同じような質問と回答ではないか。

**【磯田委員】**

それについては、現状の質問と回答による審査の仕方の問題点だと思っている。別の方法を考えないと町屋委員の疑問は解消しないと思う。

**【中澤委員】**

表現することは難しい。読み手の気持ちに左右されると思うので、できれば、優しい気持ちで受け止めるべきだと思う。

**【青山恭造会長】**

次に「No.7 『直江津写真フェア』事業」についてはどうか。

**【泉委員】**

事務局へ確認だが、No.7だけでなく、No.14、No.15もだが、担当課がないのは何故か。

**【滝澤センター長】**

所見の担当課を判断するのは事務局である。提案書に記載されている「事前協議先」とは関係ない。制度や補助事業の有無、その他全体を見て判断し、担当課へ所見を依頼している。

**【青山恭造会長】**

では、No.7、No.14、No.15については、担当課が見当たらないということか。

**【滝澤センター長】**

見当たらないのではなく、関係する課はあるが、提案内容について意見をもらう必要がないと判断したので依頼はしていないということである。

**【青山恭造会長】**

「No.8 第3回ビーチスポーツフェスティバル in 直江津事業」についてはどうか。

**【中澤委員】**

今年から、自主的に判断して「雪を使ったイベント」をやめたのは非常に良いと思っている。

**【田村委員】**

質問票に保険についての質問があるが、水上バイクを運転されている人への保証はあるが、後ろに乗っている人や船にあたってしまった時などには対応しないのではないか。

**【小池係長】**

提案団体が加入している保険は、水上バイクの試乗のための保険ではなく、当イベン

トに来られた人、全てに適応している一般的なレクリエーション保険だとのことである。

**【磯田委員】**

レクリエーション保険はボランティア保険のようなものである。だが、提案団体が加入している保険の保証内容は非常に安く、手当てが足りないのではないかと思う。

**【田村委員】**

上越市の地域活動支援事業だからこそ心配している。もし、事故があった場合、どうするのか。

**【青山恭造会長】**

主催者がいるため、そこまで我々が心配しなくて良いのではないか。

**【町屋委員】**

海の事業なのでリスクが高い。もう少し高い保険に入ったほうが良いとは思っている。また、個々の保険についても確認してもらったほうが良いと思うが、そうすると金額が変わってしまい、提案額自体が変更になってしまう。

**【小池係長】**

保険料は自己負担で行うため、提案額自体に変更はない。

**【滝澤センター長】**

保険の内容について、対人には保証されるが、対物には保証されない。水上バイクの試乗を行うことになっているので事務局から確認させていただく。

**【青山恭造会長】**

- ・「No.9 船見公園夕日コンサート2019事業」、「No.10 『ライオン像のある館』活用事業」、「No.11 直江津まちあるきガイドマップ事業」について、質疑等はなし
- 次に「No.12 天王川クリーンナップ大作戦事業」についてはどうか。

**【中澤委員】**

質問で「今年度は更なる発展として春と秋に2回実施するというお考えはなかったのでしょうか。」に対し「今年度回数は1回ですが、まずは多くの住民の皆さまから認知していただき、御参加いただき、長くつなげていきたいと思っています。もし来年度同様の提案ができるのであれば検討したいと思います。」と回答をいただいている。提案No.2でもチェーンソーの講習を受けるために「追加募集での提案が可能であれば検討したい」という回答をいただいている。質問内容は個人の意見であって、追加募集を行うことが確約されているわけではない。そこは気を付けていただきたい。

**【青山恭造会長】**

・「No.1 3 『直江津の歴史・食・人・文化をつなぎ紡ぐ』事業」、「No.1 4 『直江津港から元気発信』事業」について質疑等はなし  
次に「No.1 5 寒ブリ事業」についてはどうか。

**【増田副会長】**

質問に対する回答が適切ではないように思う。

**【町屋委員】**

仕入れ値分を回収してほしいということをお願いしているが、赤字を出してまで提供するのはどうなのか。ボランティア精神は大事だが、それと持ち出しは別だと思う。毎回、採択となっているが、これで良いのか。

**【青山恭造会長】**

次に「No.1 6 上杉謙信公の城下町 文豪の町直江津にぎわい事業」についてはどうか。

**【田村委員】**

松の横に標柱等を立てるということだが、今日該当地を見てきたが、雑草が生えていて、何もされていない。せめて、提案書に記載されていることくらい行っていただきたい。

**【増田副会長】**

回答内容が意味不明のものが多い。看板を立てれば観光人口の増加に繋がるのか。参勤交代ルートイベントだけで交流が広がるのか。看板を立てるだけで広がるとは思えない。非常に認識が甘いと思っている。

そして、標柱と案内看板を立てるとあるが、標柱を立てなくても案内看板だけで十分分かるのではないか。

そして、直江津区内で一里塚は該当地だけかもしれないが、他区にも多数あるのではないか。確度の高い証言とあるが、歴史的史実に基づいて行わないと、後々「何故、当事業に補助金を出したのか」と言われかねない。

耐用年数が6、7年となっているが、その後はどうするのか。長期計画が全くできていない。

**【町屋委員】**

道路の占用期間が5年となっている場所に耐用年数が6、7年ある標柱を立てること

自体がおかしいのではないか。

**【田村委員】**

5年経つと、余程のことがない限り継続する通知がくる。

**【泉委員】**

松の根の周りは、直径どのくらいあるのか。

**【田村委員】**

歩道に沿って3m位である。

**【泉委員】**

木の根は枝の張った分だけ出る。そうすると、5m位出ていることになるので、直径10m位はないと、根を傷めないというのは難しい。

**【磯田委員】**

当案件については多数の疑問が出ている。一里塚自体が歴史的に検証してこの場所だという特定ができていいのか。提案者からの回答だと高田に街道の起点があったらしいということだが、高田から五智の加賀街道への一里と叫べたら、場所が違うのではないか。また、市の観光の話や上越市史との整合性等を含めて文化行政課と観光交流推進課から「課題なし」となっていることが疑問である。

**【小林委員】**

案内看板に記載される内容を回答でいただいているが、その文言を見ても納得できるような文言ではないし、確度の高い証言を得ていると言っても、誰がどのような資料に基づいておっしゃっているのかが分からない。

**【中澤委員】**

当案件については懐疑的で判断するのが難しく、採点ができない。検証することはできないのか。

**【青山恭造会長】**

該当地は県の所有地であるため市は何も言えないのではないか。

**【町屋委員】**

土地の所有者の問題ではなく一里塚がそこにあったかどうか、歴史的な史実がどうなのかを検証してほしい。

**【青山恭造会長】**

事務局へ質問だが、「No.4 認知症にやさしい地域づくり in 直江津事業」で減額とな

る項目があるが補助希望額の総額から減るのか。

【小池係長】

そうである。減額後、金額を減らして数字を出させていただく。

【青山恭造会長】

ほかに意見等はないので協議事項については終了とする。

次に採点票の記入方法等について、事務局へ説明をお願いします。

【小池係長】

- ・採点票の記入方法、提出期限等について説明

【青山恭造会長】

次に「その他」について、再度事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・次回協議会：6月11日（火）午後6時から

【青山恭造会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。